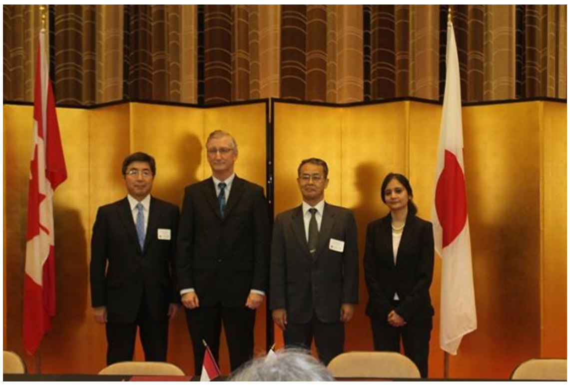
報道関係各位
プレスリリース

2018年10月26日
一般社団法人　日本物理学会

カナダ物理学会と相互協力協定をカナダ日本大使館にて締結

一般社団法人 日本物理学会は、2018年10月9日にカナダ物理学会(Canadian Association of Physicists;CAP)と相互協力協定(Reciprocal Agreement)を結びました。締結の署名式は、カナダのオタワの日本大使館で石兼公博特命全権大使も同席の下、日本物理学会 川村光会長とCAPのBruce Gaulin 会長(President)との間で取り交わされましたので、ご報告いたします(写真１～４)。

（写真１）

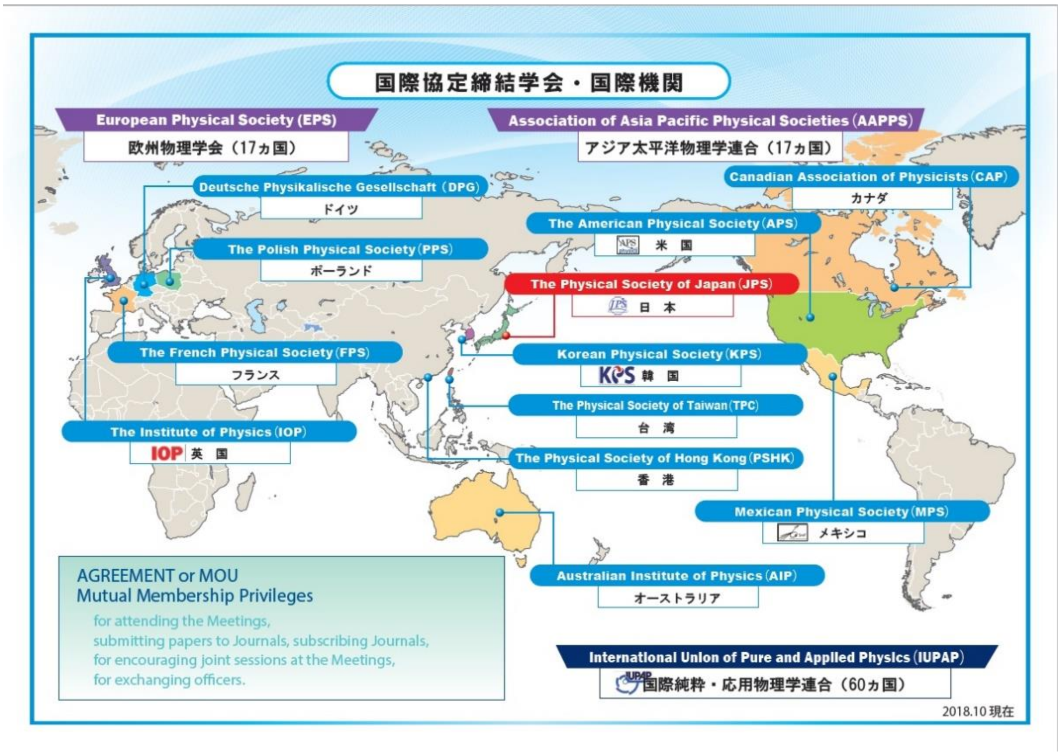

（写真 2）

（写真 3）

（写真 4）

日本物理学会は、同様の協定を1973年オーストラリア物理学会(AIP)、1985年アメリカ物理学会(APS)、同年ヨーロッパ物理学会(EPS)、同年韓国物理学会(KPS)、

1994年ドイツ物理学会(DPG)、1995年メキシコ物理学会(MPS)、同年イギリス物理学会(IOP)、2004年中華民国物理学会(PSROC)（現 台湾物理学会(TPS)）、同年香港物理学会(PSHK)、2011年ポーランド物理学会(PPS)、同年フランス物理学会(FPS)の11カ国と結んでおり、今回が12ヶ国目となります。（図１）この協定では、これらの学会の主催する大会に、双方の会員が参加・発表する権利が、同等に与えられるということです。また、各学会の発行する国際学術誌の購読に関しても各会員が同等の優遇措置を受けられるという特典もあります。すなわち、国際的な学術的交流の垣根が取り払われて双方の研究交流が積極的に行われる下地を作ったことに対応します。実際、これら海外の物理学会員は日本物理学会の大会で毎年２０～３０名程度講演しており、逆に日本物理学会員もアメリカ物理学会などでその数倍の講演を行っています。このような国際協力の場がカナダにも広がったことになります。



（図 1）

今回協定を締結したCAP(https://www.cap.ca)は、1945年に設立
され、13の分科(Division)と1つのExternal Divisionから構成されています。会員数は約1,600名程です。ちなみに、CAP の会員のDonna Strickland博士は、女性研究者として55年ぶりにノーベル物理学賞を今年受賞されました。

今回の相互協力協定締結はCAP理事会の国際協力担当理事であるRituparna Kanungo教授からの呼び掛けによるものです。Kanungo教授は原子核物理学の実

験が専門で、不安定原子核の実験を通じて我が国との関係も深い方です。締結式の直後には外務省やカナダの予算当局も交えた円卓会議が行われ、今後の両国での協力関係について活発な議論が行われました。これまでにも交流が盛んな高エネルギー物理、ミュオン・中性子実験分野、磁性や強相関係などの物性分野において、双方の大会で共同シンポジウム企画などを行う計画が議論されました。

日本物理学会はAAPPS(Association of Asia Pacific Physical Societies；アジア太平洋物理学会連合)のメンバーでもあり、これから“物理学”という共通の学問を通じて、国境の無い自由な世界を拡げていく所存です。